

# 町医者だより

平成28年07月08日合併号

## 電子タバコ

<発行・お問合せ先>

### おおわだ内科呼吸器科

院長 大和田 明彦

市川市南八幡4-7-13

シャポール本八幡2階

JR本八幡駅南口(シャポール改札口)

2分ミスタードーナツ並び

ヘアサロンAsh向かいビル2階

電話 047-379-6661

おおわだ  
内科  
呼吸器科

JTからベイプ (VAPE)、プルーム・テック (Ploom TECH)が、フィリップモリスからアイコス (iQos) が販売されています。加熱型のタバコで「煙の出ないタバコ」として従来の紙巻タバコから切り替えている方も増えているようです。今回は電子タバコについてです。

### インターネットを見てみると

電子タバコで検索するとすぐに出てくるのが「電子タバコ比較と情報」と「WELQ」の記事。きれいな画像満載です。前者のサイトの本文を見ると、アイコスに関して『やはり、「タバコを燃やさずにタバコを吸う」に限るのでしょう。燃やさないことでタールを排除し、発がん性物質の9割減らすことができたことも、健康を気にしだした愛煙家の支持を得たのかもしれないね。』と書いてあります。後者にも同様の内容が書いてあります。

### フィリップモリスのサイトを見てみると

アイコスを販売している日本フィリップモリスのサイトにはアイコスに関する上記のような発がん物質9割減少云々の記載がないどころか、氏名年齢おまけに免許証のコピーまで送らなくては行けない別のサイトを作っていて一般社会へのオープンな情報提供はありません。その点、フィリップモリスUSAはさすがです。「煙の出ないタバコと健康問題」という項目に、「合衆国公衆衛生局長官やその他の保健医療当局は煙の出ないタバコが依存性や重篤な疾病の原因となるとみなしている」ことを明記しています。重篤な疾患として癌や心臓病、口腔、歯肉や歯の疾患をあげ、「喫煙」の代替にならないとしています。もっとも、これは、明らかに訴訟対策ですね。もしそんなに身体に悪かったらそんな物売る企業の存在自体が問題です。

### 論文を検索すると

電子タバコに関する論文は多くありません。最大の理由は、どのような添加物が入っているのか簡単に情報を入手できないからです。奇妙なことに気が付きました。電子タバコは、どれもフレーバーが入っていることです。これが怪しいですね。タバコメーカーはタバコをやめないように、紙巻タバコにアンモニアまたはアンモニア塩を添加することで急速な血中ニコチン濃度上昇を引き起こし快楽中枢を刺激しタバコ依存になるように仕向けてきたのは有名な話です(アメリカでの裁判で明らかになった)。フレーバー添加が依存になんらかの関係ありそうです。フレーバーに関しては、さらに特にチェリーフレーバーの電子タバコに有害物質のひとつであるベンズアルデヒドが高濃度含まれていることが明らかになっています(Thorax 2015年)。先の「電子タバコ比較と情報」のサイトに、『やっぱり現代ではタバコをプカプカと出来る場所も少なくなってきましたし、愛煙家にとっては居心地の悪い場所が増えてきたからかも知れませんね。ですがこのアイコスは、火を使いませんから煙もでません。受動喫煙という言葉から無縁になります。いままで肩身狭く、ご自宅や会社で吸われていた愛煙家の皆さんにはオススメです。』との記述がみえます。煙が見えないだけで、有害物質の受動喫煙がなくなるわけではないのではないのでしょうか。本当に無責任な記述です。これらの記事は、表面には出ていませんが、タバコ会社が記事の作成に関与してるのは明らかです。無断で製品の写真をふんだんに使用できるはずがありません。アメリカでは中高生の電子タバコ使用が問題になっており、電子タバコが禁煙行動を却って阻害しているとの報告(Am J Public Health 2015)もなされています。紙巻タバコから電子タバコに替えて禁煙をと考えている方、タバコ会社は簡単にあなたを手放す気はありませんよ。